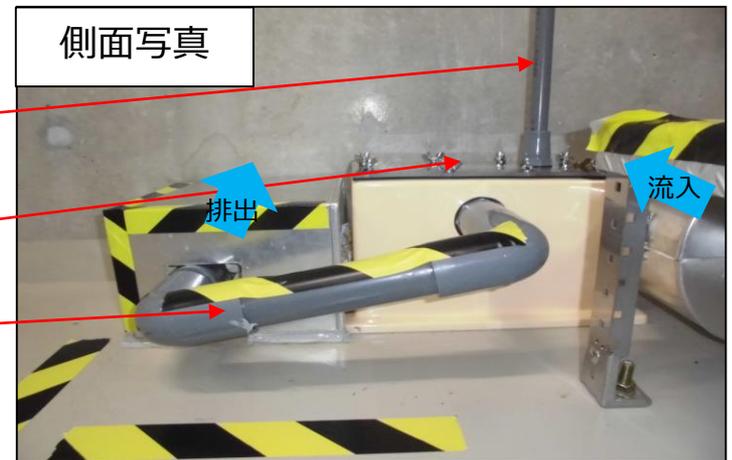
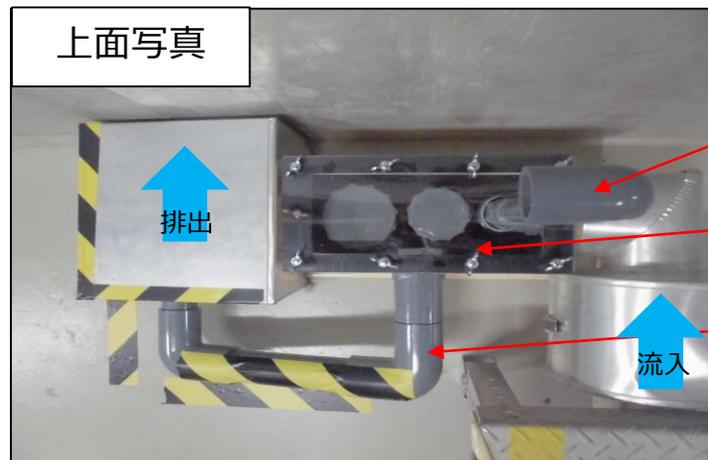
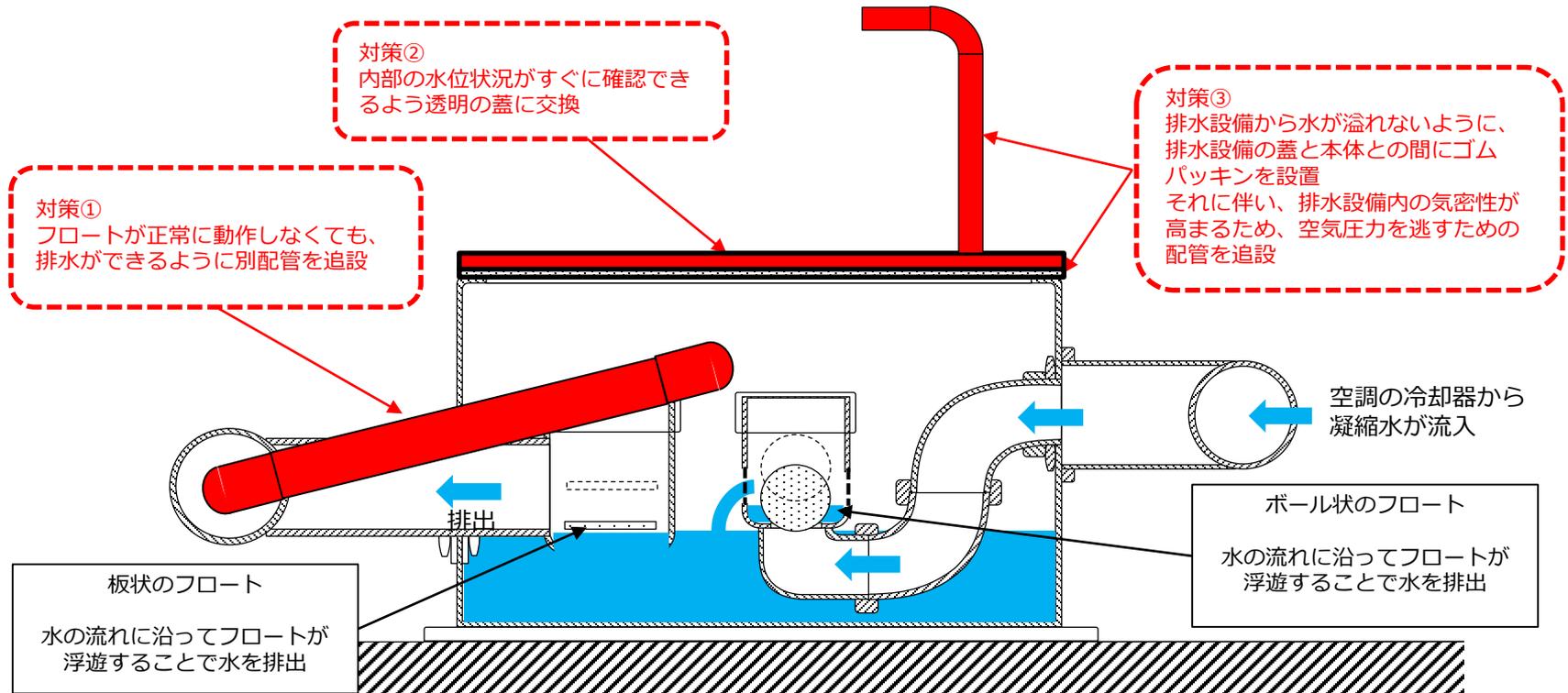


# プレス公表（運転保守状況）

2021年7月8日  
東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

発生日	2021年5月17日		
号機	—	件名	固体廃棄物処理建屋（非管理区域）における水の漏えいについて（区分:Ⅲ）
<p>【概要】 2021年5月17日午前8時50分頃、パトロールを行っていた協力企業作業員が固体廃棄物処理建屋1階入退域エリアの床面が濡れていること（約20リットル）を確認しました。 その後、2階にある給気空調機室を調査したところ、床面に約200リットルの水が溜まっていることを確認しました。 漏えいは、排水設備の一時的な不具合によるもので、空調の冷却器から発生した凝縮水が排水設備から漏えいしたものです。 また、現場確認を行い、漏えいが停止していることを確認しております。 なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>① 【対応状況】 漏えいした水については、拭き取りにより清掃を完了しております。 今後、漏えいの原因について排水設備の調査を行い、再発防止対策を検討してまいります。</p> <p>【原因】 排水設備の内部に設置されているフロート（浮き）が錆や不純物の影響により正常に動作しなかったため、排水設備本体に溜まった水が適切に排水されずに、排水設備の上部から床へ漏えいしたものと推定しております。</p> <p>【対策】 フロートが正常に動作しなくても、排水設備内に水が溜まり続けることがないように、以下の対策を実施いたします。 ①フロートが正常に動作しなくても、一定以上の水位に達すると排水ができるように、別の排水配管を追設 ②パトロール時に内部の水位状況をすぐに確認できるよう蓋を透明なものに交換 ③排水設備から水が溢れないように、排水設備の蓋と本体との間にゴムパッキンを設置 それに伴い、排水設備内の気密性が高まるため、空気圧力を逃すための配管を追設</p> <p style="text-align: right;">（2021年6月24日までにお知らせ済み）</p>			

# (参考) 対策後の排水設備



# プレス公表（運転保守状況）

2021年7月8日  
東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

発生日	2021年6月23日		
号機	—	件名	発電所正門（屋外）における体調不良者（脱水症）の発生について（区分:Ⅲ）
<p>【概要】 2021年6月23日、発電所正門（屋外）において警備に従事していた協力企業社員が体調不良を訴えたことから、午前11時18分に業務車で病院に搬送されました。 その後、病院で軽度の脱水症と診断され、点滴の処置を受けたのちに帰宅しております。</p> <p>【対応状況】 当該の協力企業社員は、熱中症対策としてこまめな休憩や水分補給を行っていましたが、軽度の脱水症と診断されたことから、当社社員および協力企業の方々へ業務開始前の体調確認や、休憩、適度な水分および塩分等のミネラル補給を心がけるよう、あらためて注意喚起を行います。</p> <p style="text-align: right;">（2021年6月24日にお知らせ済み）</p>			

②

## 【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

---

号機	6号機	件名	非常用ディーゼル発電機の定例試験中の不具合について（区分：Ⅲ）	発生日	2020年10月5日
号機	—	件名	7号機ガスタービン発電機車からの油漏れについて（区分：Ⅲ）	発生日	2021年5月12日